

第170回広島ユネスコサロン

演題「人生たそがれで考えておきたいこと」

講師：児玉賢司 広島県葬祭業協同組合専務理事
(株)玉屋代表取締役
(広島ユネスコ協会理事)

第170回目を迎えた広島ユネスコサロンは、去る3月18日、広島国際会議場に広島県葬祭業協同組合の児玉賢司専務理事をお迎えし、「人生たそがれで考えておきたいこと」と題して、お話をいただきました。

講演で、児玉組合専務理事は「なぜ葬儀をするのか」「最近の葬儀事情」「遺言について」「葬儀・法要の種類」「高齢社会の葬儀を考える（高齢社会をよりよく生きるために）」などについて、資料に基づいてわかりやすく説明され、「いざという時に慌てないためにも、今、元気に生きている時に、人生のエンディングの対処の仕方や形式などについて考え、心構えをしていくことも本人・家族にとって大切です」とアドバイスされました。

